

杉浦 銀治氏 功績

杉浦氏は農林学校を卒業後、木材からガソリンを取り出す研究や木炭自動車の研究をはじめとして、炭の研究一筋に過ごしてきた。

炭は、土に撒けば土壌の酸性を中和して保水力を高める、有害物質を吸着し水質を向上させる、二酸化炭素を土中で固定し温暖化防止にも役立つ、炭焼きの過程で発生するガスからとれる木酢液は農薬代わりになる、などの優れた点が数多い。杉浦氏は「炭焼きは地球を救う」というキャッチコピーをつくり、農業への利用を強く訴えている。

退職後は、炭を人類の未来に役立てたいとの思いから、国内はもとより海外まで炭焼き利用の技術指導に飛び回り、「国際炭焼き協力会」会長や「炭焼きの会」副会長として、諸外国への炭焼き指導を行っている。発展途上国にミレット（雑穀）から炭団（炭の粉とデンプンを混ぜた燃料）をつくる技術を伝授したり、国内においても、温暖化防止の手段として、炭団の利用を推奨、省エネ型のエネルギー源としての効用を謳っている。

日本の伝統的産業の炭焼きを地球環境改善という新しい視点で利用し、世界中に広めている姿勢を評価する。